

## 第374回危険予知活動トレーナー研修会（トレ研）

### 通所3日間コース参加

技術支援センター 星野英夫

#### 1. はじめに

第374回危険予知活動トレーナー研修会（トレ研）通所3日間コースが平成29年11月29日～12月1日に安全衛生総合会館（東京都港区芝5-35-2）で開催され、参加した。

ヒューマン・エラーによる事故・災害を防止し、安全を先取りするには「①危険に対するチームのさらには一人ひとりの感受性を高めること、②職場での全員の積極的な短時間ミーティングを行うこと、③発見した危険を解決する問題解決能力を向上することが必要である。これを踏まえて、この研修会では職場のチームワークにより、安全を「みんなで、早く、正しく」先取りする実践活動が行える危険予知（KY）活動のリーダーを育て、職場を安全先取的風土にするトレーナーの養成を目指している。全体で様々な職種の72名が参加し、6チームに分かれ、研修が行われた。私は、チーム2「やまさん」に入り、3日間の研修を行った。担当のコーディネータは中央労働災害防止協会ゼロ災推進センター畑英志氏である。

#### 2. 研修1日目

1日目のねらいは「危険予知活動の基本手法の理解と安全先取り職場風土づくりの理解」である。

##### (1) 実技①指差し呼称・指差し唱和・T&C

見て、指差し、声出して確認する指差し呼称、文言を指差し、声を出して読む指差し唱和、開始時と終了時に行うT&C（タッチアンドコール）などKY活動に必ず行う行動を学習した。

##### (2) 実技②健康KY

始業時に行う健康観察、健康確認、安全一言スピーチを学習した。

##### (3) 実技③KYT基礎4R法（1Rまで）

危険のとらえ方と表現方法について学習した。危険要因を不完全な行動と不完全な状態の組み合わせで具体的にかつ肯定的に表現し、さらに現象（事故の型）を想定する。

##### (4) 実技④KYT基礎4R（ラウンド）法

- ・1R：現状把握（どんな危険が潜んでいるか）
- ・2R：本質追求（危険のポイント追求）
- ・3R：対策樹立（具体的で実行可能な対策）
- ・4R：目標設定（チーム行動目標設定）
- ・確認：指差し呼称項目設定、T&C

上記のKYT基礎4R法を学習した。

#### 3. 研修2日目

2日目のねらいは「トレーナーの能力向上/KYT活用3つのレベルの理解」である。

##### (1) 実技⑤各社情報交流

参加者が会社等での安全への取組みなどを紹介し、情報交換を行った。

##### (2) 実技⑥1人4R-KYT

イラストをテーマに1人でKYTを行った。

##### (3) 実技⑦⑧KYT基礎4R法（簡略型）

4人ずつに分かれ、リーダー役、メンバー役になり、イラストをテーマにKYT基礎4R法を行った。話し合いやKYの内容について振り返り、ポイントの確認を行う。

##### (4) 実技⑨KYTトレーナー演習

4人ずつに分かれ、トレーナー役、リーダー役、メンバー役になる。KYTを行うチームのリーダーに対して、実技指導を行うことにより、トレーナーとしてのアドバイスの仕方を体験学習した。

##### (5) 実技⑩ワンポイントKYT

3人ずつに分かれ、リーダー役、メンバー役になり、イラストをテーマにKYTを行った。所要

時間やKYの内容について反省を行う。

#### 4. 研修3日目

3日目のねらいは「KYT活用3つのレベルの理解/今後の危険予知活動の取り組みに向けて」である。

##### (1) 実技⑩ワンポイントKYTトレーナー演習

3人ずつに分かれ、トレーナー役、リーダー役、メンバー役になり、イラストをテーマにKYTを行った。トレーナー役は、特にリーダー役の発言のうながしや危険ポイントのしぼり込みなどを観察し、アドバイスを行う。

##### (2) 実技⑪自問自答カード1人KYT

2人ずつに分かれ、リーダー役と実技者になり、イラストをテーマにKYTを行った。所要時間やKYの内容について反省を行う。

##### (3) 実技⑫適切指示即時KYT

4人ずつに分かれ、指示者役、メンバー役、コメント役になり、イラストをテーマに作業前の適切な指示とKYTを行った。コメント役は役割演技終了後、アドバイスを行う。

##### (4) 実技⑬ゼロ災チームミーティング・シナリオ役割演技訓練

3人ずつに分かれ、指示者役、作業員役になり、シナリオどおりに職場を想定し、演技を行った。ねらいは、「KYTを日常の仕事のサイクルに組み入れた例として始業時のTBM-KYのシナリオを役割演技訓練し、職場内短時間ミーティングで具体的な実践活動の進め方を体験学習する」である。

##### (5) 実技⑭自己決定・チーム決定ミーティング

チームの行動目標をチームミーティングで決定し、チームごとに全員で指差し唱和を全体に披露した。チーム2「やまさん」の行動目標は「私たちは、明るく話しやすい職場にするため、笑顔で挨拶しよう。ヨシ!」である。

#### 5. おわりに

KYT (Kiken Yochi Training) はリスクアセスメント実施後の残留リスク低減を図る手段としてまた、安全に対する感性を高めるために必要なものである。不完全な状態と不完全な行動で危険要

因を表現することは初心者には難しく、繰り返す必要がある。日常の業務は学生とともに作業することもあり、TBM-KYの組み合わせで実施できればと考えるが、安全先取り職場風土が根付いていない大学ではいきなりでは難しい。まず、健康KYからはじめ一歩一歩進めていけたらと考えている。「ゼロ災でいこう ヨシ!」

#### 【KYT基礎4R法】

例題(ブラインド掃除) あなたは、窓のブラインドを掃除しようとしている。



- ・1R: 3項目以上の危険要因と現象を想定する
- ・2R: 1R項目の「窓が開いていたのを知らずに、強く拭こうとして体重をかけてしまい反対側に落ちる」を重要危険とする
- ・3R: 2~3項目の具体的実行可能な対策を考える
- ・4R: 3R項目の「窓が閉まっているのを確認する」を重点実施項目として選択
- ・チーム行動目標:「ブラインドを拭くときは窓を閉めよう ヨシ!」
- ・指差し呼称項目:「窓を閉め ヨシ!」



写真-1 チーム2「やまさん」メンバー